

ホントは気になる お金の育て方

預貯金だけで
大丈夫かしら…

お金の色分けって
何だろう…

年金だけで
ゆとりある生活は
続けられるの？

いっしょに
考えてみましょ！



©ペアちゃん

お金の色分け

お持ちの資金(または収入)を色分けするのが第一歩

まず、お持ちの資金(または収入)を目的に応じて色分けする必要があります。

いつでも使えるお金

生活資金など毎日必要なお金や、急な出費の際にいつでも引き出せるお金。
(おおむね3~6ヶ月の生活費相当)

- 例)・日常における生活費
・ローンの返済費用 など

普通預貯金等



円

6ヶ月分の生活費っていくらかな?



目的に応じてお金の置き場所が変わるんだね



大切な人のために少しでも多く、スムーズにのこすためのお金

当面使う予定がないお金が把握できるわね



ためる

合計

円

そなえる

人生の中で起こるリスクに備えるお金

ふやす



ここを開いてね

しっかり貯めるお金

近い将来すでに使い道が決まっているお金。

- 例)・結婚資金
・車の購入資金
・マイホーム購入の頭金
・子どもの教育資金
・子どもの結婚資金
・リフォーム資金 など



円

定期預貯金・個人向け国債・貯蓄性の保険・共済・安定型の投資信託等

じっくり育てるお金

当面使う予定がなく、将来のために増やしておきたいお金。

- 例)・老後の生活資金
・ゆとりある生活を送るための資金 など



円

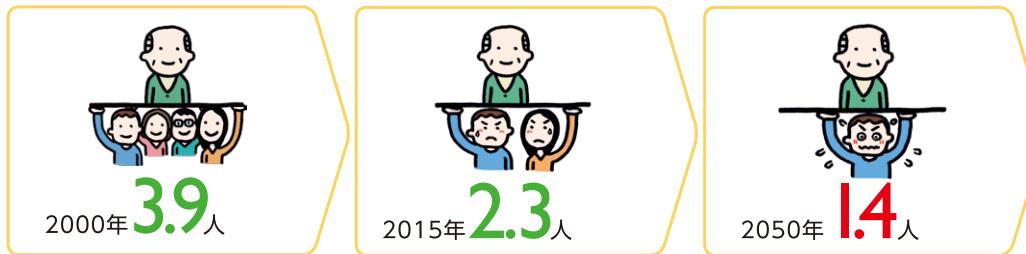
投資信託・暦年贈与に活用できる保険・共済等

お金をとりまく環境

年金受給者を支える現役世代の人数は減っていきます

少子高齢化が進み、1人の年金受給者(65歳以上)を支える現役世代(15~64歳)の人数は減っています。

1人の年金受給者を支える現役世代の人数



※総人口に占める65歳以上の割合 出所:内閣府「令和元年版高齢社会白書」

現役世代の負担が
増えるんだね



預貯金の低金利が続いています

かつては、預貯金をするだけでも、ある程度の利子がつきました。

しかし、現在は低金利の時代が続いており、預貯金だけで資産を増やすことは難しそうです。

預入の時期	金利	預入金額	20年後の金額(複利)
1992年	3.882%	1,000万円	約2,142万円
2019年	0.011%	1,000万円	約1,002万円

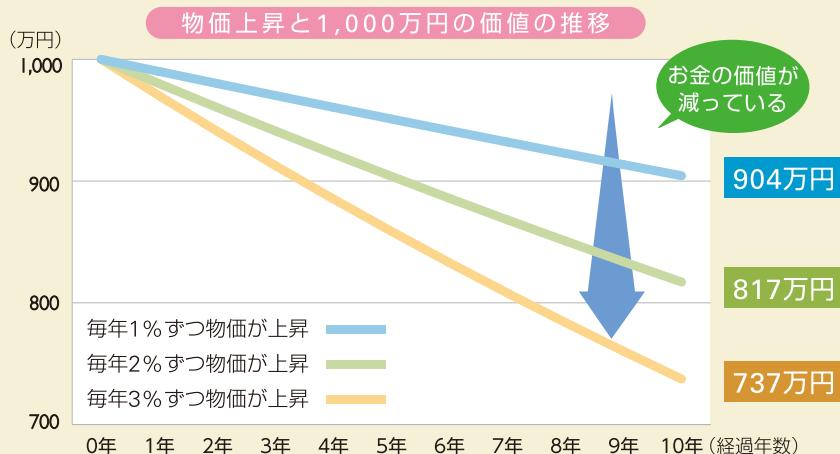
昔は預貯金でも
しっかり増えたんだね



※期間:1992年12月末～2019年12月末(月次ベース)、各年度の12月末基準
※預貯金金利は定期預金の平均金利、預入期間1年、預入金額1千万円以上。出所:日本銀行、総務省のデータを基にQUICK作成

インフレは、お金の価値を減らします

「インフレ」とはモノの値段(物価)が上がるなどをいいます。物価が上昇すると、ある金額で買ったモノがそれ以上の金額を出さないと買えなくなってしまうため、**実質的にはお金の価値が減ることになります。**



お金の価値が
減っている

現金や預貯金は
安心だと思っていたんだけど、
お金の価値って
減ることもあるんだね



※QUICK試算。上記はあくまでもシミュレーションであり、将来の価値をお約束するものではありません。

もっと詳しくみてみましょう



お金を積みあげたい方

人生にはライフィベントが目白押し。必要なお金は足りますか？

人生にはさまざまなライフィベントが待っています。それぞれのイベントにお金が必要になります。

結婚

教育費

住宅購入

子どもへの援助

医療費、旅行、
住宅リフォームなど



354.9 ※1
万円



798 ※2
万円



4,113 ※3
万円



167.8 ※4
万円



60 代～

20 代

30 代

40 代

50 代

※1 ゼクシィ結婚トレンド調査2019調べ(挙式・披露宴・披露パーティ総額) ※2 文部科学省「2018年度子供の学習費調査」、日本学生支援機構「2016年度学生生活調査」(幼稚園～大学 すべて公立・国立の場合) ※3 住宅金融支援機構「2018年度フラット35利用者調査」(土地付注文住宅(全国)の所要資金) ※4 ゼクシィ結婚トレンド調査2018調べ(挙式・披露宴・披露パーティの費用としての親・親族からの援助総額)

セカンドライフに必要なお金はいくら？

[夫が年金受給時点で厚生年金に40年加入の片働き夫婦の標準モデル]

ゆとりあるセカンドライフを送るために必要な生活資金

月額 35 ※
万円

× 12 カ月 =

年額 420 万円

最低日常生活費約22万円
ゆとりのための上乗せ額約13万円

ゆとりある
セカンドライフには
20年で8,000万円以上、
30年で1億円以上も
必要なんだ！



※ 生命保険文化センター「令和元年度生活保障に関する調査」(夫婦2人で老後をおくる場合)
※ あくまで試算であり、一律に必要な金額を示すものではありません。

これから的人生設計にそって資産形成を考えましょう

(万円)

年間40万円をつみたて運用した場合の残高推移

年利5%で運用した場合、
20年で1.7倍以上に！

運用利回り 0.1% 1% 3% 5%

年利0.1%では
20年運用しても
8万円しか増えない！



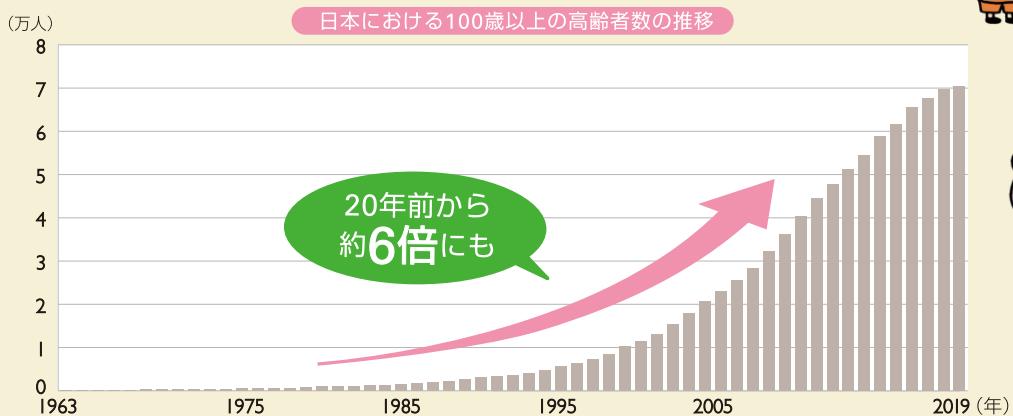
※ 試算に用いた年利はあくまで仮の数値であり、実在する特定の商品のものではありません。利回り計算は1年複利としています。
また、税金・手数料を考慮しておりませんので、実質的な投資効果を示すものではありません。

※ 出所:QUICK試算

お金を長生きさせたい方

人生100年時代はすぐそこに

医療技術の進歩や健康志向の高まりで、100歳まで人生が続くのが当たり前の時代を迎えつつあります。



出所：厚生労働省のデータを基にQUICK作成。



人生100年って
よく聞くようになったよね



そうなると、
お金も心配だわ

公的年金だけでは、ゆとりある老後は厳しそう…

[夫が厚生年金に40年加入の片働き夫婦の標準モデル]

年金では足りないので
貯金から年間約156万円も
取りくずす必要があるんだ！



ゆとりあるセカンドライフを
送るのに必要な生活資金

月額 **35** 万円^{※1}

最低日常生活費約22万円
ゆとりのための上乗せ額約13万円

公的年金

月額 **22** 万円^{※2}

夫の厚生年金15.6万円
妻の国民年金6.5万円

不足額

月額 **13** 万円

年額にすると156万円不足
(13万円×12ヶ月=156万円)

※1 生命保険文化センター「令和元年度生活保障に関する調査」(夫婦2人で老後をおく場合)
※2 厚生労働省の平成31年度モデル年金月額(夫婦2人、夫は平均的賃金42.8万円で厚生年金に40年加入、妻は国民年金に40年加入)
※3 あくまでも試算であり、一律に必要な金額を示すものではありません

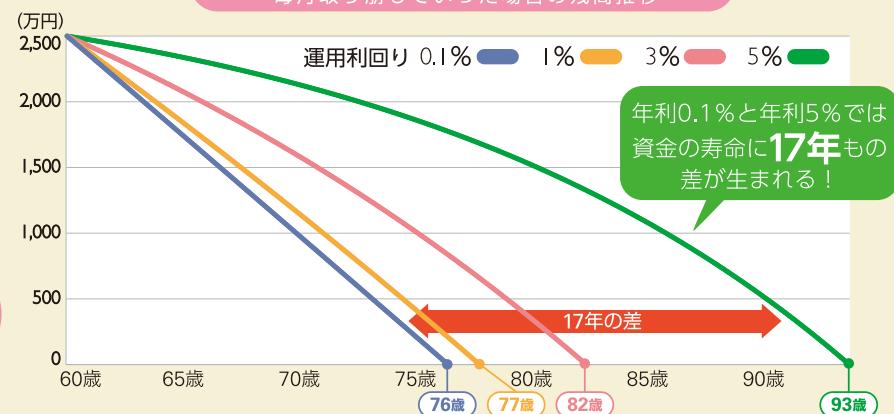
お金の寿命は延ばせるんです！

人生100年時代に備えて、
お金にも長生きしてもらいましょう。

資金2,500万円から、老後の不足額約13万円を
毎月取り崩していく場合の残高推移

収入を増やしたり
支出を減らさないと
ダメかな？

お金も寿命を
のばせるのよ



※QUICK試算。上記はあくまでもシミュレーションであり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

お金のことが少し
わかつってきたでしょ？

うん、
不安が少し
解消したよ



©ペアちゃん



©ブルくん

投資信託に関してご留意いただきたい事項

- ・投資信託は預貯金とは異なり、元本の保証はありません。
- ・投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。
- ・投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回ることがあります。
- ・投資信託の運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。
- ・投資信託の購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく費用等があります。

[本情報についてのご注意 情報提供:QUICK]

- ・本情報は、投資勧誘を目的としたものではなく、特定銘柄の購入等を推奨するものではありません。金融商品等を購入される場合は、ご自身のご判断と責任においてお願いします。
- ・本情報は、お客さまご自身のためにのみのご利用とし、本情報の全部または一部を方法の如何を問わず、第三者へ提供することは禁止します。
- ・本情報の提供元及びJAバンクは、本情報の内容について信頼しうる情報をもとに作成していますが、その内容に過誤、脱落等がある場合、または、お客さまが本情報を利用されたことにより損害等を被った場合には、一切責任を負いません。
- ・本情報の提供元及びJAバンクは、本情報の正確性及び信頼性を調査確認する義務を負っていません。
- ・本情報の内容は、情報提供元またはJAバンクの事由により変更されることがあります。
- ・本情報に関する一切の権利は、本情報の提供元に帰属します。本情報の改変等は一切禁止します。

連絡先



©よりぞう